

中長期的な路網計画の作成について（案）

○ 全体構想における位置づけ

重点課題

重点課題2：適切な森林整備及び林業の生産性向上に必要な路網整備の戦略的展開

施業集約化を進めていくための基幹的なインフラである路網の整備について、森林・林業を取り巻く情勢の将来変化を見据えながら戦略的に展開する。

○ 短期的取組

- ・ 中長期的な路網計画の検討
- ・ 路網の連結や規格の統一の検討

取り組むべき事項（7つのアクション）

② 路網整備の戦略的展開

（目的）

- 高い生産性を実現する作業システムを想定した路網の整備

（取組内容）

- ・ 地形・地質、森林の状態や森林の経営方針などを勘案した中長期的な路網計画の作成（路網の連結や規格の統一に

についても検討)

- ・ 各取組については、部会での議論等を踏まえ、順次、実行に移行（地方公共団体等の財政事情にも配慮しつつ取組を推進）

○ 中長期的な路網計画の作業状況と今後の進め方（案）

- ① 路網計画図の作成に係る最も基本的な情報（林況、地形等のGISデータ）を整理。《済み》
- ② 既に整備されている林業専用道のGISデータを整理。《国有林については済み》
- ③ 各協定者における当面の林業専用道の整備計画を集約。紙媒体で整理されているものについてはGISデータ化の作業を実施。《今年度中》
- ④ 路網計画図の作成に係る各種情報をもとに、路網計画図の原案を作成《今年度中》※別紙参照
- ⑤ 路網計画図の原案をもとに、各協定者における路網整備に対する考え方等を加味した路網計画図を作成。《今年度中》

※ 来年度以降、森林作業道のGISデータが整い次第、路線計画図の改訂を検討。

（参考）協定対象森林全体の路網密度は、現在 39m/ha 程度。